

いち・にの・さんしん



日本医療機能評価機構
認定病院

原三信病院 広報誌

April 2013 NO.43

病人のための病院

病院理念



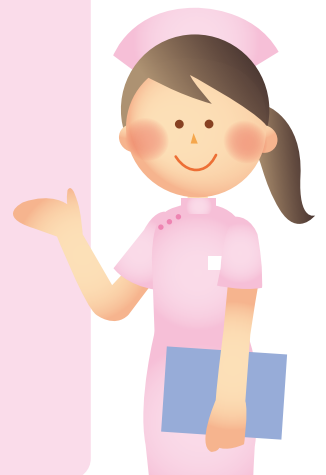
作品:「桜並木」(撮影地:朝倉郡杷木町) 写真部 米倉 礼子

病院基本方針

- 一、質の高い医療の追求
- 一、居心地の良い環境の提供
- 一、心のもったサービスの実践

目次

- 病院にゆ〜す「原三信病院 新病棟建築について」…… 2
- 医学雑学講座「良性脳腫瘍」…… 3
- THEプロフェッショナル
「メディカルソーシャルワーカーについて」…… 4
- 検査紹介コーナー「マンモグラフィー(乳房撮影)検査」5
- 香椎原病院だより・薬の豆知識…… 6
- 呉服町腎クリニックからのお知らせ…… 7
- 病院及び関連施設のご案内…… 8





病院にゆ〜す

最近の
原三信病院の
動き

原三信病院 新病棟建築について

原 三信病院は創立以来今年で134周年を迎え、新たなスタートを切る年となりました。これまで、医療の進歩に合わせて本館や東館の改修を重ねてまいりましたが、現代の高度な医療の要求に応えるのが難しい状況になり、この地での新病棟への建て替えをすることとなりました。

「病院風土の継承」を建築の基本方針とし、次世代に原三信病院の風土「医のこころ」を受け継ぐ病院づくりを目指し、これを機に病院の医療のレベルも一段と高いものにしていきたいと考えています。

原三信病院 新病棟建替計画 デザイン

- 1 「シンプル」だけど「存在感」がある
- 2 病院にいることをふと忘れさせる
- 3 流行り廃りを感じさせない
- 4 清潔感、暖かみのある
- 5 ランドマークになるような
- 6 建物自体が原三信の特徴を表す

新病院が放つメッセージ



地域特性

- 1 地域環境の活性化に寄与する

今年4月よりいよいよ工事が開始されます。来院される患者様、ご入院中の患者様をはじめ、近隣の皆さまにもいろいろとご迷惑をお掛けすることと存じますが何卒ご理解の上、よろしくお願い申し上げます。



明治29年



明治36年



昭和5年



昭和36年

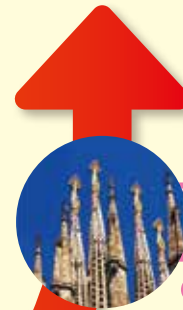


現在

未来



企画情報室
室長 藤原 勝



創り続ける

- 1 「完成形」を作るのではなく、病院を取り巻く環境とともに進化する病院づくりを目指す



病院風土

- 1 患者・家族に選ばれる病院であるために、療養環境の充実を図る
- 2 スタッフを育てる職場環境の充実を図る



地域医療・専門特化

- 1 原三信病院の柱のひとつである泌尿器科の充実を図る
- 2 最後まで責任を持てる病院として、がん治療の機能強化を図る



地域共生

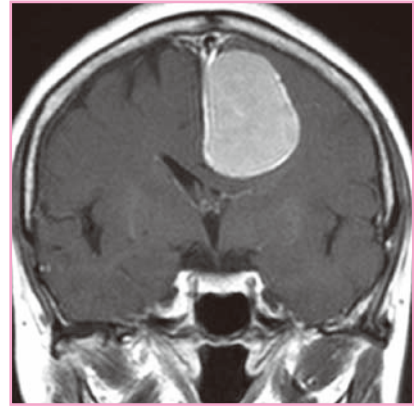
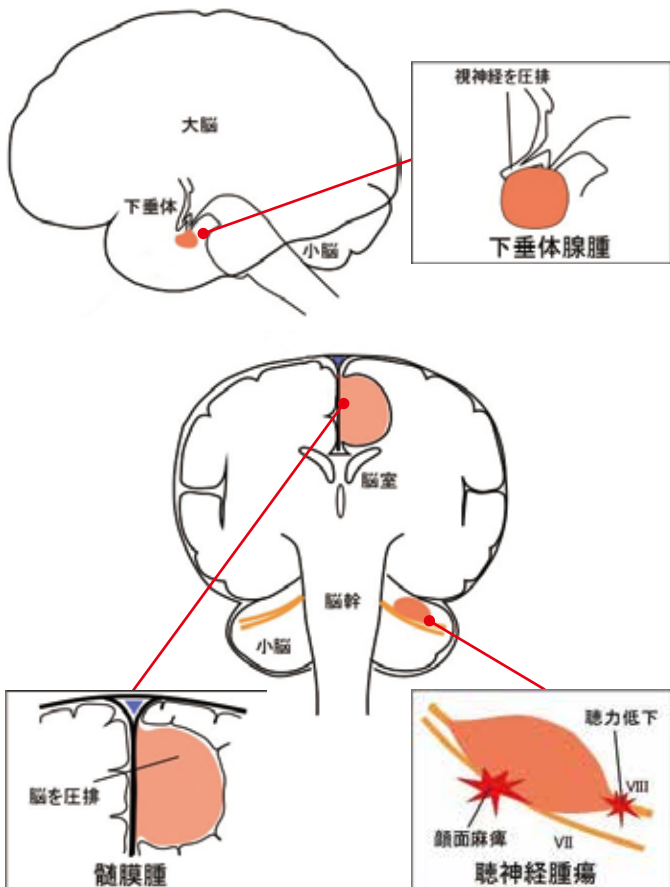
- 1 地域に根ざした病院として、地域医療機関との連携を強固にする



医学雑学講座

良性脳腫瘍

脳 神経外科疾患の4回目は、良性脳腫瘍についてご説明いたします。頭蓋骨の中に発生する“できもの”を総称して脳腫瘍と呼びますが、そのうち、成長の速度が緩やかで、周りの脳や組織との境界がはっきりしており、他の部位に転移することがないものを良性脳腫瘍と呼びます。発生頻度が高いものには、脳を覆う髄膜の細胞から発生すると考えられる髄膜腫、体中のホルモンを調節する脳下垂体から発生する下垂体腺腫、脳幹から出る脳神経を覆う神経鞘から発生する神経鞘腫があります。神経鞘腫の中で頻度が高いものは、聴神経から発生する聴神経腫瘍です。良性腫瘍といっても、腫瘍が増大することによって、脳や神経、重要な血管が圧迫されて、重篤な症状が現れることがあり、進行すると生命に関わる事態になることもあります。



髄膜腫のMRI画像

いずれの腫瘍も手術で十分に摘出できれば経過は良好ですが、重要な血管や神経を巻き込んで発育した場合は手術での摘出が困難で、治療がとても難しいことがあります。

良性脳腫瘍は、腫瘍が大きくなるとすべての腫瘍で、頭痛や嘔吐が認められるようになります。その他の症状は発生した部位や腫瘍の種類によって異なります。例えば、髄膜腫であれば発生部位の脳が刺激されて、けいれん発作が出現したり、脳が圧迫されることで手足に力が入りにくい、手足の感覚がにぶい、言葉がしゃべりにくい、目が見えにくいなどの症状が出現したりします。下垂体腺腫であれば、脳下垂体近くを走行する視神経の圧迫により目が見えにくい、物が二重に見えるなどの症状が出現したり、脳下垂体が調節するホルモンの異常から、月経の異常や妊娠していないのに乳汁が出たり、身長が異常に高くなったり、顔貌の異常などが出現します。神経鞘腫のうち聴神経腫瘍では難聴、耳鳴り、めまい、ふらつきなどの症状が出現します。これらの症状でお悩みの方は、一度、脳神経外科の外来を受診してください。



脳神経外科 部長 庄野 禎久



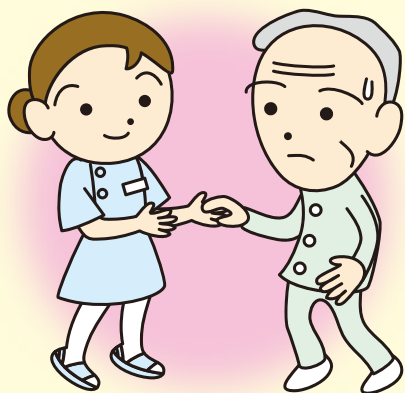
メディカルソーシャルワーカーについて

皆 さまは、ソーシャルワーカー (SW) という職業をご存知ですか？ ソーシャルワーカーとは、「社会福祉士」という国家資格をもつ相談員のことで、場所によって“ケースワーカー、生活指導員、相談員”と呼び名が変わることがあります。また、所属機関によって仕事の内容が異なることがあります。根本としては“ご本人・ご家族が不安に思われることに対して、一緒に考え、解決のサポートをしていくこと”を目指しています。そのなかで医療機関に勤務する相談員のことを、「メディカルソーシャルワーカー (MSW)」といいます。



■左から 看護科長 青木、城間、里山

現在、原三信病院には3名のメディカルソーシャルワーカーが勤務しています。私たちの主な仕事は、病気や怪我によって発生した不安や問題に対して相



■カンファレンス中

談に応じ、国・県・市町村が行なっている制度やサービスを紹介したり、申請の案内を行なったりしています。医療・介護の問題が発生した時は、病院や施設を紹介して転院支援を行なったり、地域の医療・保健・福祉・介護保険機関と連携をとり、自宅退院に向けてのサポートを行なったりもしています。例えば“体が不自由になったためにリハビリが必要になった、介護が必要になった”といった問題に対して、リハビリ病院の紹介や介護保険・障害者手帳の案内など、社会サービスを活用しての支援をしていきます。

最近では核家族化が進み、夫婦のみで生活されている世帯や近隣に協力者がいない状況で生活されている世帯が増えてきました。また、病気をきっかけに、これまでの生活が一変し、介護生活、経済面への不安が生じるといった事例も増えてきています。私たちメディカルソーシャルワーカーは、なるべく患者様・ご家族様が不安を抱えたまま生活を送ることがなく、安心して転院・退院ができるようサポートしていきたいと思っています。入院中でも通院中でも、ご相談したいことがございましたら、いつでもお声かけください。

医療連携室内 メディカルソーシャルワーカー 相川、城間、里山



検査紹介コーナー

マンモグラフィー 乳房撮影 検査って、どんな検査？

目的

マンモグラフィー検査とは、乳房・乳腺のX線写真です。乳房は柔らかい組織なので、専用のレントゲン装置で乳房をはさんで写真を撮ります。

- ①乳腺、乳房の評価 ②乳腺や周辺部の石灰化の有無 ③早期の小さな乳がんの発見
- ④触れることのできない、またしこりのできない乳がんの発見 ⑤腫瘍の質的診断などを行ないます。

検査時間

10分前後です。

検査方法・手順

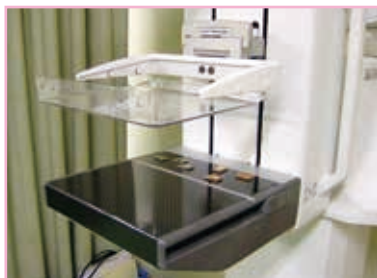
当院放射線科では、乳房撮影認定技師が撮影を行ないます。全て女性技師にて対応しています。

乳房検査は、合計4枚(左右2枚ずつ)を撮影します。

- ①上半身はだかになって、検査着に着替えていただきます。(検査時は、乳房を出してもらいます)
- ②装置の前に立って、左右の乳房を片側ずつ別々に角度を変えて撮影していきます。
 - ・撮影は、乳房を機械で挟んで(押さえて)撮影します。
 - ・場合により追加撮影を行なう場合があります。

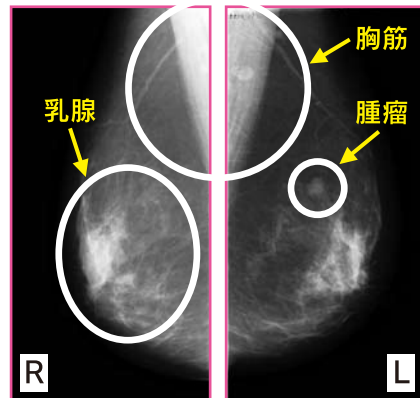


乳房撮影装置



乳房を機械で挟んで(押さえて)撮影します

※当院では、マンモグラフィー精度管理中央委員会における検診施設認定を取得しています。



乳房(乳腺)画像

より良い画像を得るためにご協力ください

乳房撮影(押さえて撮影)について

微小な変化を捉えるため、乳房の厚さをできるだけ均一に圧迫して写真を撮る必要があります。

強く押さえますので、かなり痛い思いをされる方もいらっしゃると思います。

早期発見のためにも、少しの間我慢をしてください。

注意事項

- 検査を受ける時期に注意してください。
 - ・乳腺は女性ホルモンの影響を受けています。排卵から月経が始まるまで乳腺が硬くなったり、痛みを感じたりします。なるべくこの時期は避け、月経が終わって一週間ぐらいの乳房が柔らかい時期に検査を受けましょう。
- 妊娠、またはその可能性のある方は、お申し出ください。
- 豊胸手術を受けている方は、必ず検査前にお申し出ください。

用語解説

マンモグラフィー(MMG:Mammography):乳房のX線撮影検査のことです。

※検査に際してご不明な点がございましたら、お気軽に医療スタッフにお尋ねください。

放射線科 副部長 阿部 健吾





高齢化社会における香椎原病院の役割

少子高齢化を迎えた現在、高齢者と称される経験豊富な方々が大いに活躍されています。ここ香椎の地においても街の美化運動や通学路の安全確保、公民館活動などをなさっている姿をよくお見かけします。また、香椎原病院においても、ボランティア活動のご協力をいただいています。皆さまには成熟した日本を生きる鑑として、生き活きと活躍し続けていただきたいと思えます。

当院では地域高齢者が心豊かに在宅生活を送ら



公民館での地域活動の様子

れるよう、体操実技などの出前講座を各公民館などで行なうと共に、健康増進のためのシルバーシニアフィットネス会員も募っています。

また、急性期病院での治療後の体力回復を目的とした入院治療や、在宅生活を支援するための訪問看護・訪問リハビリ・通所リハビリにも力を注いでいます。温かい心が触れあうなかで、皆さまに豊かな生活医療を提供できるように努めています。

今後とも、香椎原病院をどうぞ
よろしく願いいたします。



香椎原病院 院長 寺田 憲司

薬の豆知識

風邪と薬

風邪をひいて薬を飲んだ経験は、誰もが一度はあるのではないのでしょうか？ ひと言で風邪薬といってもたくさんの種類がありますので、いくつかご紹介いたします。

解熱鎮痛剤

熱を下げ、頭痛などの痛みをやわらげます。続けて飲む場合は、服用時間を5～6時間あけましょう。

抗ヒスタミン剤

鼻水、くしゃみ、鼻づまりなどを抑えます。眠気が出ることがあるので、車の運転などには注意が必要です。

トローチ剤

口や喉の細菌を殺し、喉の痛みや腫れをやわらげます。嚥んだり飲み込んだりせず、口の中でゆっくり溶かしてください。



市販薬にも多くの風邪薬がありますが、そのほとんどには解熱鎮痛剤・抗ヒスタミン剤・咳止めなどが配合されています。また、最近では病院で処方される薬と同じ成分が入った市販薬も増えています。薬を選ぶ際は、ぜひ薬剤師にご相談ください。

薬剤科 若松 由紀子



呉服町腎クリニックからのお知らせ

呉服町腎クリニックのご紹介

原 三信病院附属呉服町腎クリニック（診療所）の1階には受付、診察室、患者様の待合室、患者様の更衣室などがあります。

2階には血液透析治療機械、3階には血液透析治療機械、看護師詰所が設置されています。



■透析室クラーク 井上 透析室看護助手 白水



■3階
血液透析治療機械



■呉服町腎クリニック
外観

住所、連絡先は、次のページをご覧ください。

透析食の栄養指導(カリウム制限)

2 011年の日本透析医学会の資料によると、全国の透析患者様でK(カリウム)中毒/頓死による1年間の死亡者は日本全体で843名と、透析患者全死亡者の2.9%を占めていました。また、透析前の平均カリウム値が4.6~5.3mmol/Lの透析患者さまの生存率が一番良く、透析前カリウム値6.0mmol/L以上6.29mmol/L以下では死亡率が約1.2~1.4倍高く、透析前カリウム値6.3mmol/L以上では死亡率が約1.6~2.0倍高くなるという海外の報告があります(Kovesdy CJASN 2007)。

血液透析治療は週3回、1回5時間の間歇的な治療であり、5時間の透析でK(カリウム)が十分に除去されても、その後のカリウム摂取が多いと次の透析までの間にカリウムが血液中に急速に蓄積する可能性があり、食べ物、飲み物のカリウム制限が必要です。具体的な食べ物、飲み物については栄養士、医師、透析室スタッフにお尋ねください。



■栄養科の
スタッフ

■後列左より 科長 石崎、東
前列左より 主任 青木、本多、高橋



編集後記

やわらかな陽ざしが心地よい季節となりました。新年度・新学期・新入学、新鮮な季節です。

今年も当院には新たに医師・看護師・技師・事務職員が入職し、病院全体がフレッシュな雰囲気になっています。平成25年度も広報誌を通して、当院で活躍するスタッフの紹介・医療に関する情報・当院の出来事などフレッシュな話題をご提供できればと思います。

なお、広報誌に関するご意見を、1階公衆電話横・各病棟に設置の「ご意見箱」にお寄せいただければ幸いです。

広報・連携委員会 委員長 原 直彦

病院及び関連施設のご案内



原三信病院

〒812-0033 福岡市博多区大博町1-8
 ☎092-291-3434 FAX092-291-3424
 URL <http://www.harasanshin.or.jp>
 ☒ info@harasanshin.or.jp

日本医療
機能評価機構
認定病院

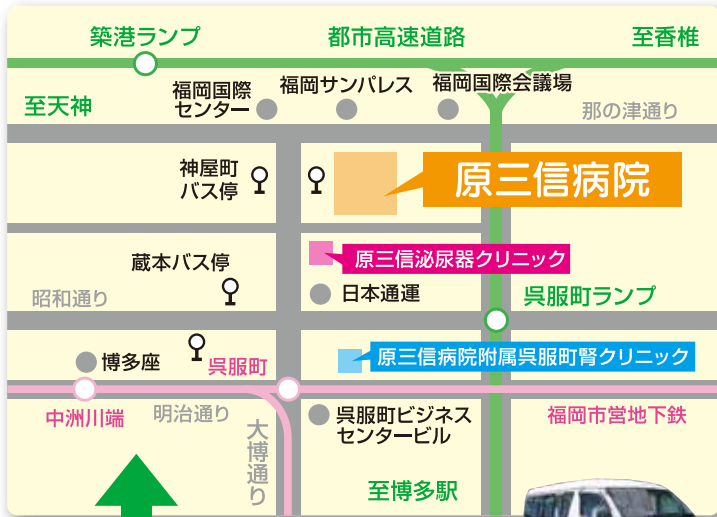
● 診療時間

月～金曜日 9:00～13:00・14:00～17:00 土曜日 9:00～13:00

※日・祝祭日および8月15日・12月31日～1月3日はお休みです。但し、急患の患者様は、救急外来にて診察いたします。

● 診療科目

総合診療科・循環器科・消化器科・呼吸器科・糖尿病科・外科・血液内科・
 腎臓内科・脳神経内科・整形外科・脳神経外科・泌尿器科・婦人科・放射線科・
 麻酔科・臨床病理科・歯科・健康管理センター



原三信病院附属 呉服町腎クリニック



〒813-0011 福岡市博多区中呉服町1-25
 ☎092-262-2828 FAX092-262-2853
 ☒ gofukumachi@harasanshin.or.jp

● 診療時間

水曜日 14:00～17:00

● 診療科目

内科・人工透析

原三信泌尿器クリニック



〒812-0034 福岡市博多区下呉服町2-13
 双和ビル2F(双和薬局上)
 ☎092-283-5121 FAX092-283-5131

● 診療時間

月～金曜日 9:00～13:00
 14:00～17:00

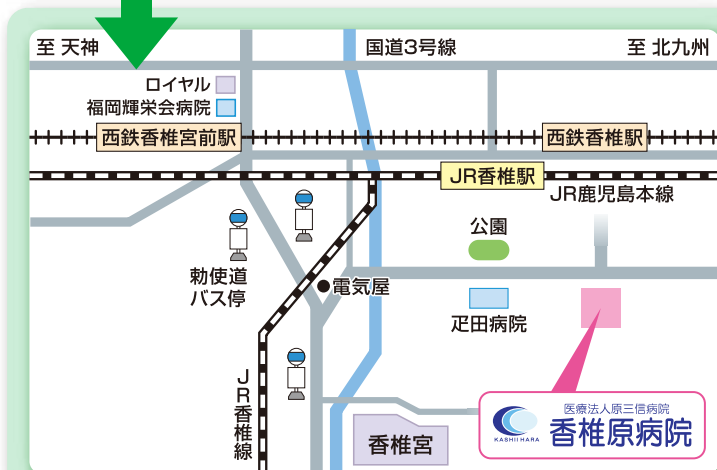
● 診療科目

泌尿器科

シャトルバス運行しています

	香椎原病院発	千早駅発	原三信病院着	原三信病院発	千早駅発	香椎原病院着
午前	9:30	—	10:00	10:10	10:35	10:40
	11:40	11:50	12:10	12:20	12:45	12:50
午後	13:40	13:50	14:10	14:20	14:45	15:00
	15:50	16:00	16:20	16:30	—	17:00

運休日：日曜・祝日・年末年始 ※時刻・路線は変更することがございます。詳しくは受付にてお尋ね下さい。



香椎原病院



日本医療
機能評価機構
認定病院

〒813-0011 福岡市東区香椎3-3-1
 ☎092-662-1333 FAX 092-662-1330
 URL <http://www.kashihara.or.jp/>

● 診療時間 月～金曜日 9:00～13:00 14:00～17:00

● 診療科目 内科・リハビリテーション科

病院理念

手の暖かさの伝わる病院